

モスバリアジュニアⅡ レッド 効果的な使用方法

★効果について

赤色の効果は拡散抑制です。農薬のような殺傷効果はありません。
アザミウマは生息域を拡げるため(拡散)、緑色(作物)を目標に飛ぶと言われています。
作物に赤色が当たると、目標が見えなくなりその場に留まり拡散しにくくなります。

★効果を得るため大切なこと

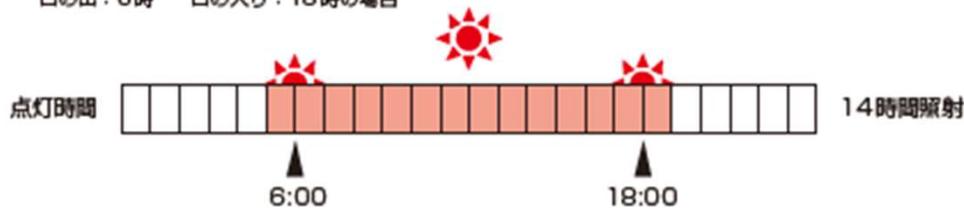
照射開始前のハウスのアザミウマ密度をゼロにする。
露地でも点灯前に農薬散布等でアザミウマを防除しておく。
種まき・定植直後から点灯し、最後まで継続して点灯する。
アザミウマが活動する時間に点灯。
苗と共にアザミウマが持ち込まれないよう注意する。
天敵農薬との併用や必要に応じて農薬散布する。

★点灯時間

ミナミキイロアザミウマの飛翔活動は、夏場は明け方と夕方の数時間、冬場は昼間
が最も活発となります。(農研機構 光を利用した害虫防除の手引きより)
他の種類も昼間活動します。
以下の時間を厳守してください。
季節による時間の変化に注意し、タイマー設定時間を適切に。

●日の出1時間前～日の入り1時間後の照射が望ましい。

日の出：6時 日の入り：18時の場合



※夜間に照射すると、アザミウマ類を誘引する。

★天敵農薬への影響

最近活用されている天敵農薬(カブリダニ類等)に対する悪影響はありません。

★反射シートの併用

光がまんべんなくあたることで効果を高められます。
光を反射させるシートを併用することで効果が高くなります。

